

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【地域共創科学研究科】

1 概要

①域学共創に必要な基礎スキルの修得

スキル科目

共創の基盤となる、エビデンスに基づいた地域社会の把握や、知的財産を活用した価値創出を学修する。

②専門性と俯瞰性を修得

専攻科目

共創の基盤となる専門性と俯瞰性を身に付けるため、異分野にまたがる専攻科目を設定。

③域学共創・文理共創に資する能力の修得

地域共創科目

異分野の専門家からなるチームが協働することの重要性を理解し、協働による地域社会の機能維持や産業発展に資する計画を立案し、実行することで新たな価値を創造（共創）する力を身に付ける。

【地域リノベーション専攻】

○地域の特性や潜在する資源を活用し、地域社会の機能を維持し再生する方策を構想できる力を育成するために、専攻科目として社会学や工学などの異分野にまたがる授業科目群を置きます。

○異なる分野の研究者や地域の専門家と共創することの重要性を理解し、自らの専門性を位置づけることができるように、専攻共通科目として「地域リノベーション特論」を置きます。

○地域を支える機能を維持し再生するために立案した政策や計画を多面的に評価できるように「政策・事業評価演習」を置きます。

○持続可能な地域の未来を構想し、その実現に必要な政策や計画を論理的・体系的に考える能力を育成するために、修士論文の作成を目指した特別研究を置きます。

【産業創成科学専攻】

○地域産業の課題を十分に理解し、その解決のために必要となる専門的な知識を修得させるために専攻科目として農水産学や経営学などの異分野にまたがる授業科目群を置きます。

○地域の産業特性と課題に対して、自らの専門性を位置づけることができるように、専攻科目として「地域産業創成特論」を置きます。

○農水産学や経営学など各々の専門性による付加価値、さらにはそれらの共創による付加価値を生み出すための構想力やマネジメント力を修得させるために「共創価値創出演習」を置きます。

○また、地域産業の課題を探究し、課題解決にむけたプランを科学的・論理的・体系的に考え、実践し得る能力を育成するために、修士論文の作成を目指した特別研究を置きます。

2. 教育・学習方法

(1) 異なる分野の研究者や地域の専門家と共創することの重要性を理解できるよう、それぞれ有機的に構成するオムニバス形式の講義と集団討論を行います。また、専門が異なるメンバーが協働し1つの事業計画を作成できるよう、グループワーク（演習）を行います。

(2) 修士課程としての高度な専門知識と俯瞰性を修得させるとともに、異分野の専門家や地域の専門家と協働し新たな価値を創造する（共創）ことで地域社会の課題を解決できる能力を修得させるため、複数の研究領域の教員による研究指導を行います。

3. 学習成果の評価

客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して成績評価基準をあらかじめ明示し、各授業科目の単位認定は試験又は研究報告書等により授業担当教員が行い、成績評価基準に基づき厳格な評価を行う。学位論文の審査は、審査会による学位論文審査並びに最終試験によって適切に行う。